

第7期計画における高齢者の自立支援と重度化防止の取組 自己評価及び分析結果

① 自立支援・介護予防・重度化防止

【計画記載内容】

区分	取組内容	目標			実績 (上段：数値、下段：達成状況)			
		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	
一般介護予防事業の 推進	高齢者の運動機能の向上を図るため「心身 活性化教室」を開催するとともに、通所型介 護予防事業を推進します。	「心身活性化教室」 参加人数（人）	150	150	150	217 ◎	119 △	57 ×
		通所型介護予防事業 参加人数（人）	150	150	150	137 △	51 ×	32 ×
	高齢者が低栄養状態になるのを防ぐため、栄 養改善事業を推進します。	栄養改善事業 参加人数（人）	70	70	70	64 △	42 ×	45 ×
	高齢者の口腔機能低下を防ぐため、口腔機 能向上事業を推進します。	口腔機能向上事業 参加人数（人）	70	70	70	54 △	84 ◎	11 ×
包括的なケアマネジメ ントの推進	個別事例を通じた多職種協働による利用者 支援を目的として「地域ケア会議」を開催しま す。	「地域ケア会議」 開催回数（回）	4	4	4	4 ◎	3 △	1 ×
		個別ケース検討 件数（件）	11	11	11	17 ◎	21 ◎	18 ◎

(達成状況：100%以上◎・70～99%△・69%以下×)

【進捗管理による分析内容】

現状と課題	<p>当町においては2015年以降総人口は減少傾向が続いていますが、高齢者人口は増加の一途を辿っています。</p> <p>また、第1号被保険者数は2018年をピークに減少に転じますが、要介護認定者数は2025年まで微増が続く見込みとなっており、被保険者数と要介護認定者数の反比例を防ぐために介護予防事業の推進による自立支援・重度化防止の取組が必要です。</p> <p>さらには、サービス利用者の個別事例を通じた多職種協働による利用者支援を行うなど、包括的なケアマネジメントの推進を図る必要があります。</p> <p>2019年度は一般介護予防事業で開催回数や参加者の減少が目立ったため、参加者を増やすための具体的な手法を検討し、実施していくこととしていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症により、事業の中止や縮小を余儀なくされたことから、今後は感染症対策を踏まえた開催方法等も含め、参加者を増やすためのさらなる具体的な手法を検討し実施していくこととします。</p>
-------	--

【実績／課題と対応策】

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	心身活性化教室
実績	H30:3カ所13回(5～2月)217人、H31:2カ所8回(5～1月)119人、R2:2カ所5回(7～12月)57人		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数が少ないことが課題だが、現在の体制、稼働量では回数を増やすのは難しいと考える。 ・H31,R2年度は、目標値を達成できなかったが、アンケートから参加者の満足度は高いようで、参加者増には「参加するきっかけ」づくりについても工夫が必要。 ・R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に実施回数が減ってしまい、目標達成のためには、感染症対策を踏まえた開催方法の検討、人員・業務の体制整備が必要となる。 ・ロコモ予防では、事業での体力テストから自分の体力を知ったうえで、家でも簡単にできる体操を紹介することで日常からの運動不足解消に向けた継続的な取り組みを促していく。 		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	通所型介護予防事業
実績	H30:137人、H31:51人、R2:32人		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの利用者が介護申請により要支援等となり、年々利用者が減少している。 ・町内で利用できる事業所が4カ所あるうち、H30は1カ所、H31は2カ所、R2は1ヶ所の稼働となっており、潜在事業所を稼働させるためにも、事業の周知を徹底するなど利用者の掘り起こしを行い、介護予防の重要な取り組みとして進めていきたい。 		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	栄養改善事業
実績	H30:3カ所5回(6~3月)64人、H31:3カ所5回(7~2月)42人、R2:1カ所1回(9月)11人		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が固定してしまい新規者が少なく、参加者が減少してしまった。 ・食生活改善推進員とともに実施することで、カルシウムが豊富なメニューや、筋力強化のメニューなど介護予防を重視した高齢者向けのメニュー開発につながっており、継続的に取り組む事でより効果が期待できると思われる。また、新規参加者の増加に向け周知方法も再検討していく。 ・参加者個々の栄養摂取状況をその場でアセスメントできていないのが課題。今後は個人の栄養状況をチェックし、その場で指導できるよう実施方法を工夫していく。 ・R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により前年より実施回数が減った割には、参加者は多かった。今後は、感染症対策を踏まえた開催方法や開催場所等の検討が必要。 		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	口腔機能向上事業
実績	H30:1カ所3回(8~12月)54人、H31:3カ所4回(8~12月)84人、R2:1カ所1回(10月)45人		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な体操なので、参加者には自宅でも継続して実施するよう伝えているが、ほとんどの人は教室でしか実施していない。今後は自宅でも取り組めるよう説明や資料を工夫しながら、教室でも継続実施し体操を行うことを定着させる。 ・H31年度は、他の高齢者教室等と併せて開催することで実施回数を増やし目標値を達成することができたので、今後も他の高齢者教室等でも取り組み、さらに実施回数を増やしていく。 ・R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により前年から開催場所、回数、参加者いずれも減少となったため、感染症対策を踏まえた開催方法や開催場所等を検討し、各種教室と併せて開催すること等で多くの参加者を募る。 		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	地域ケア会議
実績	H30:4回、H31:3回、R2:1回（書面により）		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働の観点から会議には町内の関連事業所から最低1名以上の出席を求め、行政も含めた事業所間での協力・連携体制や情報交換を密にすることを目的に、H30年度は目標値を達成することができた。 ・H31年度は、3月に4回目を実施する予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できず、R2年度では同様に書面開催による1回のみしか実施できなかった。 ・感染症対策を踏まえた開催方法や開催場所等を検討し、多職種による情報交換を密に行えるよう開催していく。 		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	個別ケース検討
実績	H30:17件、H31:21件、R2:18件		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・今期は各年度で目標値を達成することができたが、困難事例の解決には当事者や家族との関わりが非常に重要となり、解決までじっくりと時間をかけて取り組むケースもあれば、早急に対応が必要なケースもあり、柔軟に対応できる体制づくりも必要となる。 		

② 給付適正化

【計画記載内容】

区分	取組内容	目標			実績 (上段：数値、下段：達成状況)			
		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	
包括的なケアマネジメントの推進	ケアマネジャーの質向上やケアプラン作成のスキルアップを支援するため、主任ケアマネジャーによるケアプラン作成技術の指導等日常的な個別指導を行います。	ケアプラン作成技術の指導回数（回）	2	2	2	2	10	15
		「ケアマネ連絡会」開催回数（介）	2	2	2	2	2	0

(達成状況：100%以上◎・70~99%△・69%以下×)

【進捗管理による分析内容】

現状と課題	<p>当町では2015年以降、高齢者人口・要介護認定者数ともに徐々に増加を続けており、2025年の推計値では高齢者率・要介護認定率ともに2015年と比較し5ポイント程度上昇する見込みとなっています。</p> <p>サービスの利用状況も増加傾向にあり、高齢者・要介護者が増え続ける中、介護給付費の負担も増え保険料額もさらなる増加が見込まれています。</p> <p>適切な介護サービスの確保と保険料の増大抑制を図るため、また、サービス利用者の重度化防止のため、ケアプラン点検等によるケアプラン作成技術の指導・助言等を行い、ケアマネジャーのスキルアップ・ケアプランの質の向上へつなげることが必要です</p>
-------	--

【実績／課題と対応策】

区分	ケアプランの質の向上	取組内容	ケアプラン作成技術の指導
実績	H30:2件、H31:10件、R2:15件		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は2件にとどまったが、H31年度は10件69月、R2年度は15件95月分のケアプラン点検を行い、今期の目標を大幅に上回る結果となった。今後も月1件以上を目標にケアマネとの面談・指導を行っていく予定。 		

区分	ケアプラン作成技術の研鑽	取組内容	「ケアマネ連絡会」の開催
実績	H30:2回、H31:2回、R2:0回		
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度、H31年度に開催した連絡会は、研修と情報交換がメインとなり、具体的な作成技術まで話が及ばなかったため、今後は具体的なケアプラン作成の事例などを学べるよう、開催内容を検討する。 ・R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により連絡会を開催できなかったため、感染症対策を踏まえた開催方法や開催場所等を検討し、具体的な事例検討など、スキルアップと質の向上に資する場として連絡会を開催していく。 		